

## 当初予算編成の基本的な考え方

新たな総合計画の基本理念である「暮らし満足度日本一」の実現に向けた施策を実施すること

国民体育大会・全国障害者スポーツ大会を県民総参加で成功させるとともに、これを契機として千葉県の魅力を県内外に発信し、観光客の増加や県産農林水産物の知名度向上につなげること

依然として厳しい経済・雇用情勢を踏まえ、新年度当初予算と平成21年度2月補正予算とを一体的に編成することにより、切れ目のない経済・雇用対策を実施すること

### (1) 「暮らし満足度日本一」の実現に向けた施策の実施

平成22年度は、中長期的な視点に立った県政運営を行うための基本方針となる新たな総合計画の初年度であることから、その基本理念である「暮らし満足度日本一」の実現に向けた第一ステップとして、さまざまな施策を展開してまいります。特に県民からの要望が多い子どもの育成支援、福祉・医療や学校教育の充実などの施策について重点的に取り組みます。

#### 〔子どもの育成支援〕

これまで小学校就学前までの子どもを対象としていた医療費助成については、平成22年12月から対象者を小学校3年生までに拡大します。また、待機児童の早期解消を図るため、民間保育所の施設整備費に県単独の上乗せ助成を行うとともに予算を大幅に増額し、保育所の整備を促進します。さらに、放課後の子どもたちの生活や遊びの場の確保、安全・安心な居場所づくりのために市町村が行う事業を支援するほか、子ども手当の創設に伴う県負担分を措置します。

子ども医療費助成事業	38億74百万円
保育所の整備促進	43億67百万円
放課後児童健全育成事業	11億87百万円
放課後子ども教室推進事業	64百万円
子ども手当支給事業	136億57百万円

## 〔福祉・医療の充実〕

入所希望者が多い特別養護老人ホームの建設について補助単価を引き上げるとともに予算を大幅に増額し、緊急的に施設の整備を進めます。また、急速な高齢化の進行に伴い、顕在化する住まい・地域コミュニティ・介護サービス等の諸課題に対応するため、今後の高齢社会における福祉と住まいのあり方に関する調査・分析を行います。さらに、在宅で生活する重症心身障害児（者）を介護する家族の負担の軽減を図るため、県内5ヶ所に重症心身障害児（者）が短期入所できる施設の確保を図ります。

このほか、東総地域の中核的な公的医療機関である旭中央病院の施設整備に対する助成を増額するとともに、周産期母子医療センターや小児医療施設の施設整備に対し助成するなど、医療体制の一層の充実を図ります。

特別養護老人ホーム建設事業補助	48億円
高齢社会における福祉と住まいのあり方研究事業【新規】	6百万円
重症心身障害児（者）短期入所特別支援事業【新規】	5百万円
公的医療機関整備事業補助	18億49百万円
周産期医療施設に対する助成の拡充	6億43百万円
小児医療施設施設設備整備事業補助【新規】	56百万円

## 〔学校教育の充実〕

私立高等学校及び私立幼稚園に対する経常費補助金について県単独の補助単価を増額し、保護者負担の軽減を図ります。また、公立高等学校の無償化に対応し、私立高等学校等に通う生徒の授業料の一定額を助成します。

また、「千葉県の教育を元気にする有識者会議」からの提言を受け、本県の道徳教育を一層充実させるための指導のあり方や効果的な教材の開発などについての検討を行います。さらに、千葉県独自の指導書に基づく問題を作成・配信し、教員の授業づくりを支援するとともに、中学生の学習意欲の向上を図ります。

このほか、特別支援学校の児童生徒の増加に伴う過密化・教室不足に対応するため、高等学校の空き校舎などを活用し、分校・分教室の整備を推進するとともに、疾病や障害等により体温調整が困難な児童生徒に配慮し、特別教室にも空調設備を整備します。

私立学校経常費補助（一般補助）	333億12百万円
私立高等学校等就学支援事業【新規】	60億円

道徳教育推進プロジェクト事業【新規】	2 百万円
「ちばのやる気」学習ガイドの評価問題配信事業【新規】	4 百万円
特別支援学校分校・分教室整備事業	1 億 2 百万円
特別支援学校特別教室空調設備整備事業【新規】	60 百万円

## ( 2 ) 国体の成功とこれを契機とした千葉県の魅力発信

平成 2 2 年度は、第 6 5 回国民体育大会、第 1 0 回全国障害者スポーツ大会が開催されます。6 1 8 万県民が一丸となって、全国から訪れる方々を「最高の笑顔」と「心のこもったおもてなし」でお迎えし、本県に訪れたすべての皆様に喜んでいただけるような大会を目指します。

また、千葉県は豊かな自然環境に恵まれるとともに、東京ディズニーリゾートや成田山新勝寺をはじめとする多くの観光資源を有しています。新鮮で美味しい農林水産物も豊富で、落花生、ネギ、大根、梨、イセエビなど日本一を誇るものも数多くあります。国体・障害者スポーツ大会が開催されるこの機を捉え、千葉県が持つこれらの数々の魅力を全国に発信し、観光客の増加、農林水産物の知名度の向上を図ってまいります。

さらに、全国から訪れる方々が本県で気持ちよく滞在・観光できるように観光施設や道路等の整備を一層推進するとともに、アクアラインを活用した魅力づくりにも積極的に取り組んでまいります。

国民体育大会開催事業	49 億 29 百万円
全国障害者スポーツ大会開催事業	13 億 59 百万円
千葉の魅力発信推進事業【新規】	1 億 40 百万円
観光立県全国キャンペーン事業	35 百万円
県産農林水産物魅力発信事業	30 百万円
東京湾アクアライン料金引下げ社会実験	15 億円
南房総観光道路ネットワーク強化事業	11 億 19 百万円
観光地魅力アップ緊急整備事業	1 億 50 百万円
アクアライン料金引下げを活用した観光プロモーション【新規】	19 百万円
宿泊・滞在型観光推進事業【新規】	20 百万円

### (3) 2月補正予算との一体的編成による切れ目のない経済・雇用対策の実施

依然として厳しい経済・雇用情勢が続き、更なる景気の悪化も懸念される状況の中、県民の暮らしを守るため、新年度予算が執行されるまでの間も切れ目なく経済・雇用対策を実施する必要があります。

このため、平成22年度当初予算において、中小企業振興資金の融資枠の拡大など経済・雇用対策を拡充するとともに、平成21年度2月補正予算においても国の二次補正予算において創設された「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」などを活用して、事業の前倒しや比較的小規模な公共事業等の追加を行い、年度当初の受注減の回避と新年度予算への円滑な移行を図り、地域経済の活性化につなげてまいります。

中小企業振興資金事業（融資枠の拡大）	1,600億円
チャレンジ企業支援センター（仮称）の設置【新規】	3億70百万円
緊急雇用対策	116億10百万円
離職者等生活・就労等支援対策事業【新規】	18億円

〔平成21年度2月補正〕

地域活性化・きめ細かな臨時交付金活用事業 （主なもの）	45億33百万円
・舗装道路修繕事業	9億円 （22年度当初予算と合わせ52億37百万円）
・橋りょう修繕事業	2億30百万円 （22年度当初予算と合わせ11億80百万円）
・交通安全施設整備（信号機）	3億2百万円 （22年度当初予算と合わせ90億13百万円）
・県立学校施設整備事業	13億73百万円
・県立体育施設整備事業	1億83百万円
・警察施設整備事業	4億26百万円

#### 【地域活性化・きめ細かな臨時交付金】

平成21年12月8日に閣議決定された「明日の安心と成長のための緊急経済対策」に基づき創設された交付金。各自治体においては、この交付金を活用し、危険な橋りょうの補修、景観保全の必要性の高い地域における電線の地中化や都市部の緑化、森林における路網整備などといったきめ細かなインフラ整備事業を実施することにより、地元の中小企業、零細業者の受注に努め、地域活性化等に取り組むよう求められている。千葉県への配分額は41億92百万円。